



# 瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

主の公現 C年 (2022年1月2日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：イザヤ書 60章1—6節

第二朗読：エフェソの信徒への手紙 3章2、3b、5—6節

福音朗読：マタイによる福音書 2章1—12節

## 秘められた神の計画の揭示

三つの朗読から

第一朗読の「光」(3節)に注目してください。輝く光は神の栄光の表れです。同時に、人はその光のもとへと吸い寄せられていきます。ですから、4節の「来る」を味わいたいのです。ヘブライ語の原文は「ポー」だそうです。4節では「来る」、「進んで来る」、5節では「集まる」、6節では「携えて来る」と訳されます。4節では、敵によって遠いところに奪われていたシオンの息子や娘たちがやって来ます。5節では国々の富がシオンに集められます。6節ではミディアンやエファ、シェバに代表される異邦の人々がやって来ます。こうして、神の栄光にて照らされたシオンは、その光を照り返しながら、人々を集める「中心」となるのです。

第二朗読の「啓示されました」(5節)を心に留めましょう。ギリシア語原文は「アポカリプトー」です。元々の意味は「覆いを取って見せる、明らかにする」です。そこで、「隠されていたものを顕わにしていく」という意味が生じます。そこから、「超自然の神秘、秘密を神が明らかにしてください」という意味となっていきます。

「あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ」(マタ16章17節)。ここでも「アポカリプトー」が用いられています。そして、世の終わりでの特別な状況を表すためにも使われます。「人の子が現れる日にも、同じことが起きる」(ルカ17章30節)。

ですから5節は、「今や霊において、かれの使徒たちや預言者たちに啓示された」と直訳できます。そうしますと、秘められた神の計画であるキリストの救いの出来事は、他のだ

れでもない、キリストの使徒と預言者たちに明らかにされたのです。

福音朗読では1節にある「占星術の学者」について理解を深めましょう。フランシスコ会訳では「東方の博士たち」となっています。ギリシア語原文は「マーゴイ」ですが、占い、占星術、医術をおこなう学者たちを表す単語です。

イスラエルの民のように神のことに根拠をおかず、星の運行から世界を見ようとする彼らは異邦世界の典型的な人物像と考えられるでしょう。

教会の伝承に従えば、贈り物の数から、学者たちは三人であったとするのが一般的です。名前は次の通りです。

メルキオール Melchior (黄金。王権の象徴、青年の姿の賢者)

バルタザール Balthasar (乳香。神性の象徴、壮年の姿の賢者)

カスパール Casper (没薬。将来の受難である死の象徴、老人の姿の賢者)



テル・ブリュッヘン「東方三博士の礼拝」 アムステルダム国立美術館所蔵